

町長新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。
みなさまには、健やかに新春をお迎えの
こととお喜び申し上げます。

昨年は、年末に衆議院解散総選挙が行われ、自民党が国民の信任を得て引き続き政権を担当することとなりました。勝って兜の緒を締めよといいますが、アベノミクスが成功し長期低迷する日本経済を復活させるまでは、おごることなく、しっかりと舵取りをしていただきたいと思います。

私たち地方の声がどれほど政権に反映されるかはわかりませんが、経済成長により町民のみなさんの所得が増え、町の財政が豊かになり、名実ともに「やさしさと みどりあふれる 活気あるまち やおつ」になれるように期待し、町政に一生懸命努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

また、本年は合併60周年の記念すべき年でありまして、夏には記念式典や関連事業としてイベントを計画中であります。昭和30年以来、6地区がひとつになり八百津町をつくりあげてこられたのも、先輩諸氏のご努力や、町民のみなさま方のご理解ご協力の賜と心より感謝いたします。

さて、今年の私の抱負を四字熟語で表しますと「勇猛果敢」です。

本年は私の5期目の最終年にあたります。顧みますと、町長として重大な判断に迫られたことが幾度かありましたが、その都度、適切な判断をしております。

しかし、今一番課題であります、少子高齢化に対しては、どのような判断をすべきか、頭が痛いところでもあります。地域コミュニティが崩壊し生活そのものが成り立たなくなってしまう前に、なんとか地域の活力を取り戻さなければなりません。

人口流出を食い止め、定住人口の増加を図り、町民のみなさんが安全で安心して暮らしていただけますよう、強い決断力をもって政策に取り組んでまいります。

その一環として、伊岐津志地区に建築を進めてまいりました錦津コミュニティセンターが昨年末に完成し、本年2月から業務を開始いたします。現在の錦津公民館が土砂災害警戒区域に指定され、避難所として不適合であることから移転を決断し、錦津保育園に隣接する町営住宅丸根団地跡地に新築しました。平地に移りアクセスもよくなりましたので、コミュニティ活動の拠点として、また生涯教育や健康づくりの場として大いに利用していただきたいと思います。今回、専任の公民館長をおいて、公民館活動も充実してまいりますのでご期待ください。

また、開館から14年が経過しました杉原千畝記念館は、山荘と一体的に利用できるように改装工事を行い、内装や展示物の入れ替えやレイアウトも大幅に変更しました。現在は、工事中で休館のためたいへんご迷惑をおかけしておりますが、4月にはリニ



ューアルオープンいたします。外国人のお客様も年間2,000人を超えており、多数のご来館をお待ちしております。

現在、平成27年度予算編成の真っ只中です。限られた財源のなか、最小の経費で最大の効果をあげるべく編成作業を急いでおります。予算案は、議会の議決をいただかなければ本予算となりませんが、平成27年度の予定施策を一部ご紹介いたします。

公共施設の耐震化事業として耐震診断を実施しながら進めてまいりましたが、耐震基準が変更となる狭間の昭和56年に建築しました八百津中学校につきまして、基準が満たされていないことが判明したため、取り急ぎ耐震補強工事を行います。また、平成23年度から着手しました上飯田浄水場整備事業につきましては、浄水施設は本年3月までに完成させ、4月から供用を開始しご家庭に配水いたします。この事業の総予算額は19億円余りですが、施設の附帯工事を本年実施しすべてを完成させる予定です。このほかに、健康や福祉、教育、産業や観光、道路整備や防災にも予算の重点配分をしております。

国においては、一昨年、新丸山ダムの建設継続を決定され、ようやく始動したところですが、まだまだ予算規模も小さく本体着工の目途がたっておりませんので、国土交通省に対して、予算の増額とダム本体工事の早期着工を強く要望しております。

岐阜県においては、南の玄関口となる「やおつトンネル」の2期工事を施工いただいておりますが、早期に完成するよう要望し、合わせて八百津町の活性化策を模索してまいりたいと考えております。

八百津町のような中山間の町は、たとえ景気が回復しても大幅な税収や個人所得の増加は望めず、財源が潤沢ではありません。この解決策として、前安倍政権のときに創設され、平成20年から始まった「ふるさと応援寄附金」は、全国から寄附金を募ることができ、特典として特産品をプレゼントすることにより、町の宣伝と地場産業の売り上げ増につながり一石二鳥の策です。昨年は、2,000万円程のご寄附をいただき、還元分を差し引いても1,200万円程の財源を確保できましたので、引き続きインターネットを利用して寄附を募ってまいります。

以上、私の思いの一端を述べさせていただきましたが、何事も勇猛果敢に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、みなさま方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。